

## ！雨と土砂災害の関係を知りましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。  
自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。  
なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

### ■誰でも簡単に雨量計測できる簡易雨量計測の方法

カップ酒のビンなどの寸胴の容器にメモリをつけて、雨が降り始めたら、地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に容器を設置。こまめにたまつた水の深さを確認しましょう。

## ！行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。  
これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

### 土砂災害警戒情報

地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

### 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示

災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発令される情報

## ！前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を発見したら、直ちに避難を開始してください。

#### かけ崩れの発生前には



#### 地すべりの発生前には・・・



#### 土石流の発生前には・・・



#### この他にも・・・

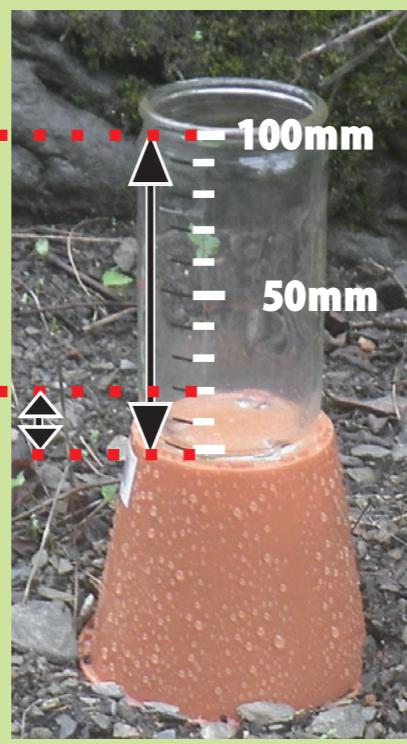
- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがある
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がある
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとるなど

## ！災害情報サービスをご活用ください

防災釜石広報☎ 0800-8003199（通話料無料）※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHSから利用可能です。  
防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

### 連続雨量で100mm以上の雨

100mmたまる



### 時間雨量で20mm以上の雨

1時間に20mm以上たまる

高さ10cmのカップ酒の瓶を使った雨量計測

※1時間に20mmの雨のイメージ  
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほど強い雨

# 山谷町内会自主避難計画

山谷町内会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

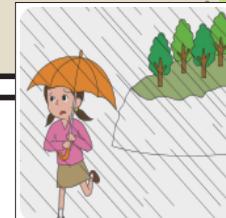
### ①日頃からやっておくこと

裏面の防災マップを参考に、降雨時に確認できる予兆現象や、自宅周辺の避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）、避難経路、住民間の連絡方法を確認しておきましょう。カップ酒の瓶等を用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。



### ②雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。（※1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
- 避難開始の目安となる現象が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



### ③自主避難基準に達したら、町内か役員等に報告して、すぐに避難対応！

#### 自主避難基準

次のような状況になったら、ただちに避難を開始します。

- 避難開始の目安となる現象が確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のかけや沢で土砂災害の予兆現象（裏面に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が避難勧告や避難指示（緊急）を発令した場合（避難に時間がかかる方と、その避難を支援する方は、避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき早めの避難を開始します）

#### 自主避難基準が確認されたときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応を取ってください。  
土砂災害のおそれのある区域の外に出ることを心がけましょう。

#### 比較的安全と思われる最寄りの建物・場所へ避難

- 山谷集会所（集会所に近い世帯）
- 自宅内待機（集会所から遠い世帯）

\*危険区域内にお住まいの方は山谷集会所へ避難すること

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合**は、

**自宅を含めて、かけや沢から少しでも離れた建物の2階以上へ避難**

この計画は、平成28年10月～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、山谷町内会として検討したものです。

# 釜石市 唐丹地区 洪水・土砂災害緊急避難地図

## 山谷町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しうまくいきません。地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげることが大切です。

### 住民懇談会で把握した情報

- 避難開始の目安となる現象
- 降雨時に確認される前兆現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄
- 比較的安全と思われる場所や建物

### その他の地域情報

#### 避難の目安

◆山谷橋上流で増水により石が転がり、ゴロゴロ音がするとき

#### 【連絡】

班毎に状況確認→班長→町内会長  
町内会長→避難の呼びかけ、市・消防団に通報

### 土砂災害の危険性

岩手県砂防基礎調査結果に基づく区域

土砂災害の危険性が特に高い区域

急傾斜地崩壊の危険性が高い区域

岩手県による土砂危険区域

がけ崩れの発生するおそれのある区域

土石流の発生するおそれがある区域

### その他の危険性

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の空撮写真及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第618号)

0 100 200 300 400 m

